

平成 21 年度 第 2 回 学術情報ネットワーク運営・連携本部会議 議事要旨

1. 日 時 平成 22 年 3 月 10 日（水）13：30～15：00

2. 場 所 国立情報学研究所 22 階 会議室

4. 議事内容

(1) 次期学術情報ネットワーク（SINET4）の進捗状況

山田委員から、資料 3 に基づき、SINET4 の方向性（①ネットワークの高速化、②サービスの多様化・利便性向上、③エッジノードの安定性の強化、④加入機関間の学術基盤格差の解消、⑤上位レイヤサービスの支援・展開）、運用開始までのロードマップ等について説明があり、この方向で進めることと了承された。

(2) ノード校における SINET4 開始速度について

坂内本部長から、資料 4 に基づき、ノード校における SINET4 開始速度について、SINET3 の利用状況を踏まえ、各ノード校と調整した結果であること、また、ネットワークの最適化を図るため一部のノードを廃止する予定である旨の説明があり、原案どおり了承された。

(3) ノード未整備県におけるノード整備について

事務局から、資料 5 に基づき、ノード未整備県におけるノード整備について、最優先課題の位置付けと認識しているが、SINET4 開始時は予算の都合上、全 13 県中 4 県程度の整備となる旨の説明があった。また、候補地選定方法としては、接続機関数順の整備が適当と考える旨の説明があり、平成 23 年度ノード整備県として、山形、福島、奈良、宮崎で進めることとなった。

(4) 企画作業部会報告

安達委員から、資料 6-1 に基づき、報告（学術情報基盤における諸課題に連携して取り組んでいくための枠組みとして、SINET 接続機関をメンバーとする学術情報基盤オープンフォーラムの設立、アクセス回線の共同調達や上位レイヤサービスの検討等）があった。事務局から、資料 6-2 に基づき、アクセス回線の共同調達の進捗状況について説明があった。阿部准教授（企画作業部会副主査）から、資料 6-3 に基づき、学術認証フェデレーション及び SINET サービス説明会の開催報告があった。

(5) ネットワーク作業部会報告

山田委員から、資料 7 に基づき、報告（SINET4 における、ノード校のアクセス回線開始速度、国際回線、及び、新規ノード設置に向けた優先順位付けの検討等）があった。

(6) 認証作業部会報告

岡部委員から、資料 8-1 に基づき、報告（UPKI オープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクト進捗状況、学術認証フェデレーション試行運用参加状況、eduroam の実施状況等）があった。また、資料 8-2 に基づき、「学術認証フェデレーション試行運用実施要領」の改訂が提案され、原案どおり了承された。

(7) グリッド作業部会報告

青柳委員から、資料 9 に基づき、報告（NAREGI ミドルウェアの現状報告、NAREGI アーキテクトタスクフォース開催状況等）があった。

(8) 高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会報告

曾根委員から、資料 10 に基づき、報告（政府統一基準第 4 版への対応及び改訂版の検討、大学等への情報セキュリティポリシーの普及促進活動等）があった。

(9) 平成 22 年度運営・連携本部の進め方について

坂内本部長から、資料 11 に基づき、次年度の運営・連携本部の進め方について、厳しい財政状況が続くが、運営・連携本部会議を中心に、より一層の連携力を発揮し、難局を乗り切りたい旨、発言があった。

松岡委員から、先行きが見え難い状況が続くが、これを逆に好機とし、連携・結束できることを示し、新たなファンドを獲得することも必要である旨、発言があった。

(10) その他

山田委員から、SINET アジア回線及び TEIN3 状況報告について、報告があり、後藤委員から補足説明があった。

－以上－